

	岡山大学 人文科学分野
学部等の教育研究 組織の名称	文学部（第1年次：175名） 社会文化科学研究科（M：100名、D：12名）
沿 革	<p>明治33（1900）年 第六高等学校設置</p> <p>昭和24（1949）年 岡山大学法文学部設置</p> <p>昭和46（1971）年 文学研究科設置</p> <p>昭和55（1980）年 法文学部を改組し文学部設置</p> <p>平成5（1993）年 文化科学研究科設置</p> <p>平成16（2004）年 文化科学研究科及び文学研究科等を改組し 文化科学研究科設置</p> <p>平成18（2006）年 文化科学研究科を社会文化科学研究科に改称</p>
設置目的等	<p>昭和24（1949）年に、人文科学・社会科学の各分野にわたる総合的な教育研究を行うことを目的として、法文学部が設置された。</p> <p>昭和46（1971）年に、学問・教育・文化等の各分野で専門性を活かして活躍できる人材を育成することを目的として、文学研究科が設置された。</p> <p>昭和55（1980）年に、知的、感性的能力を涵養して社会的要請に応ずる人材を育成し世界文化の進展に寄与することを目的として、法文学部を改組し、文学部が設置された。</p> <p>平成5（1993）年に、幅広い文化的知識を備え、伝統文化や自然環境等の特性と産業社会の発展とを融合させる複眼的視野を有し、変化に柔軟に対応し得る研究者や高度な専門的職業人の養成を目的として、文化科学研究科が設置された。</p> <p>平成16（2004）年に、既存の教育・研究の継続的深化とともに、他方では新たな学際的研究領域の開拓を促進する柔軟な教育・研究組織の構築を目的として、文化科学研究科及び文学研究科等を改組し、新たに文化科学研究科を設置した。</p> <p>平成18（2006）年に、文化科学研究科の改組に合わせて研究科名を社会文化科学研究科に改称した。</p>
強みや特色、 社会的な役割	<p>【総論】</p> <p>岡山大学における人文科学分野においては、真理の探究を図るとともに、我が国における人文科学分野の普遍的役割及び岡山県を中心とした中四国地域における課題解決の役割を果たすべく、教育研究を実施してきた。</p>

引き続き、上記の役割を果たしながら、教育及び研究において明らかにされる強み・特色・役割等により、学内における中長期的な教育研究組織の在り方を速やかに検討の上、実行に移す。

【教育】

(学部)

- 人文科学の学問分野の教育研究を通じて、豊かな教養や社会貢献できる専門性を有し、情報収集・発信力や行動力を身に付けるとともに、知的好奇心や豊かな感性を備え、広く社会で活躍できる人材を養成する。
- このため、例えば、古文書を活用した実践的実習をはじめ、文献調査、作品解読、地域の考古史料や地方文書の整理・調査、地域住民へのインタビューを行うフィールドワークとともに、実践的な語学能力を養成するための副専攻コース（フランス語等）の実施に取り組んでいる。
- これらの取組を通じて、学生が作成した地域調査演習の報告書を地域へ公開するとともに、ヨーロッパ言語等の各種検定を取得する学生が見られる。また、中四国地域を中心に 31 都府県の博物館等に 100 名を超える学芸員を輩出している。
- 今後、入学時と卒業時の学生の意識調査に積極的に取り組むなど、卒業時に必要とされる資質や能力を可視化しつつ体系的な教育課程を編成するとともに、専門領域横断型の新たな教育プログラムを導入するなど、学生の能動的学習を促す教育の実施や組織的な教育体制等を整備する。また、これらの取組の実施だけではなく、可視化した資質や能力に応じた取組の成果や効果等を適切に把握していくことにより、学士課程教育の質的転換に取り組む。

(大学院)

- 人間文化の基底と言語文化の特質に関する専門知識を理解するとともに、それらを基盤に共生社会の構築への課題を分析・思考できる能力を身に付けた高度専門職業人・研究者を養成する。
- このため、日本文化を多面的視点から考察する日本文化研究や外国語のディスカッション科目の実施などに取り組んでいる。
- 今後、社会人の再教育や留学生を含めたグローバル化に向けた教育体制の整備を図るとともに、時代の動向や社会構造の変化に的確に応え、課程制大学院制度の趣旨に沿った教育課程と指導体制を充実・強化する。

【研究】

- 考古学・日本史領域の研究実績をいかし、地域との連携により、岡山市造山古墳のデジタル測定の成果を踏まえた他の巨大古墳との比較研究とともに、大学所蔵の池田家文庫の調査研究やデジタル化など地域の文化・歴史に資する研究に取り組んでいる。

- これらの取組を通じて、三次元計測による巨大古墳の調査をきっかけに県内古墳が文化庁・岡山県等による保存事業の対象となった。また、池田家文庫の研究成果が毎年の岡山市シティミュージアム展示会などで地域文化遺産として市民に公開されている。
- 今後、複数の学問分野にまたがる研究プロジェクトの実施など総合的な研究を組織的に推進するとともに、我が国社会の課題解決・文化の発展に貢献することを目指す。

【その他】

- 全学的な機能強化を図る観点から、18歳人口の動態や社会ニーズを踏まえつつ、学部・大学院の教育課程及び組織の在り方、規模等の見直しに取り組む。また、大学院の定員未充足の改善に向けて魅力あるカリキュラムの再構築、広報の充実、定員規模の見直し等に取り組む。